



地域を通じ未来を考える！

総合的な学習の時間レポート 「食料自給率・種子島の農業について考える」



「食料自給率」一度は耳にしたことがあるだろう。我が国の一九七〇年における食料自給率（カロリーベース）は六〇%であったが、現在では、四〇%を切り三十八%となった。これは異常事態であり、主要先進国のなかで最下位を争っている。

食料自給率低下の原因として、国内における農業の衰退、食生活の欧米化、多様化等が挙げられる。そこで私たちは、日本の農業の衰退と食料自給率について、種子島の現状を踏まえて考えることにした。

日本の食料自給率は年々下がっているが、種子島の食料自給率はなんと六〇%という高い数値を示しているデータがある。（全国農協観光協会誌「ふれあい」より出典）その要因として、所有する畑で農作物を育てたり、兼業農家という形で米・サトウキビ・でんぷん等を生産し、「自給自足」的な生活スタイルもあるのではないかと考えられる。しかし、食料自給率の高い種子島においても少子高齢化問題に直面し、農業人口は年々減少していくため、種子島の食料自給率は間違いなく低下していくことが予想される（表1）。農業人口が減少している理由として、若者が都会に憧れ島を離れるケース、農業に興味を持っていない人が少ないというケース、年齢的な理由で農業を辞めていくケース等が考えられる。

私たちは種子島の農業を守る対策として、耕作放棄地となっている土地の活用と、農業の機械化を提案したい。土地をそのまましておくことは生産量も減り、農業を再開しにくい環境になると聞いたことがある。そこで、新しく農業を始めたという人や農業の大規模経営を考えている人に対して、行政と連携し、積極的に農地を貸し出す。また、IoT（身の回りのあらゆるものがインターネットにつながる仕組み）やドローン技術を活用する。さらに、農業の大規模化と効率化を図り、「儲かる農業」として再生させたらどうだろうか。

そこで実際に農家である祖母に私たちの提案と農業の現状について聞いてみた。農業をする上で大変なことは、雑草駆除や台風等による被害、農機具の値段、雇用賃金の高さを挙げた。なかでも、人件費を含めた畑の維持・管理にかかる費用の上昇は、農作物の販売価格が低下する現状において厳しいという。また、様々な補助金が無くなれば、農業を続けたくても続けられないだろうと話してくれた。次に私たちが提案した「農業の機械化」について聞いてみると、「高齢者が増えていくから使いこなせるかが心配、説明会等を開いてくれないと、すぐに忘れてしまう」と答えた。このことから、祖母のような高齢者には、簡単と思えるタッチパネルのような操作でも難しく感じていることを実感した。

私たちは農業の新規参入について調べた結果、全国的には二〇〇九年の農地法改正により、一般企業も農地を借りて農業経営が可能になり、企業の農業参入のハードルが低くなっている。また、農業経営の法人化の動きもみられる。そこで、高齢化や後継者不足が深刻化している種子島の農業についても、家族で農業を営んでいた農家が集まり、共同での機械購

入や分担しての農作業などを推進すること、生産費用も下がり、生産性を高めることができると思う。このことで、祖母が心配していたことについても、少しではあるが解決策を示すことができるのではないかと考える。

さて、最近「フードマイレージ」という言葉が耳にする。これは食料が日本に届くまでの「輸送量」と「輸送距離」をはかる指標であり、日本のフードマイレージは世界一である。逆にいえば、それだけ輸送にエネルギーを消費し、環境に負荷を与えていることにもなる。しかし、国内を見渡すと食品ロスが問題となっており、環境の観点からも地域内で生産された食料を消費する「地産地消」をこれまで以上に推進し、農業を再興させることが必要である。南種子町にある「トーンミー市場」の形態は、地元の農家の方々が生産した農作物や加工品が豊富にあり、季節を感じる商品も多い。生産者の顔が見え、安心して商品を購入することができる。まさに「地産地消」と「六次産業化」の成功事例ではないだろうか。

最後に、種子島の農作物は魅力的なものが多い。日本有数の超早場米・ねっとりとした食感の安納芋・種子島の土壌に適したサトウキビ等、様々な作物が挙げられ、大きな強みである。しかし、TPPをはじめ、農業を取り巻く環境は厳しい。私たちは、今後も種子島の農業や日本の食料自給率について関心を持ち、自分ごととして考えていきたい。

【普通科二年】

上田晃平・牧瀬大成・中村康誠

表1 「種子島における農業人口」

	平成17年	平成27年
販売農家数(戸)	3,572	2,722
自給的農家数(戸)	751	548
基幹的農業従事者(人)	5,158	3,875

資料：鹿児島県熊毛支庁「熊毛地域の概況」